

おひさま広場

2025年 10月号(月1回発行)

急に朝晩涼しくなり始めてきましたね。今年の夏は、今までにない程の暑さだったので、体も気候の変化に追いつかなくなってこもあるかもしれませんが、自然に触れながら、元氣いっぱい過ごしたいですね。

10月は、運動会の為、園庭では、在園児が普段室内で行うようなアスレチックが園庭で行っているのが見られる日があるかも…!?

広場の方でも午前メンバーは、運動会ごっこを合同で行います。体をいっぱい動かして、笑い、大人も子ども一緒に楽しい!!という目標を大切にしたいですね。



高崎市倉賀野町194

おひさま倉賀野保育園

HP QRコード

TEL(027)347-0441

(子育て支援センター)

(027)346-3899 (保育園)

http://ohisamakuragano@gmail.com



お月見だんご作り

10/3(金)

親子でお月見だんご作りをしてみませんか?
作って、食べて季節の行事を楽しみましょう。

もちもの エプロン、三角巾(親子共に)

本材料費 100円 当日でもOK

あおぞら広場

11/10(日)

おもちゃ作りをしたい
と思います。目撃集会所で行います。

ママさんの広場

おしゃべりしながらおもちゃ作り
をします!! 11/6(木)までに
申し込み下さいね。

おひさまひろば うんどう会

10/22(水) 9:45 現地集合

集合したら、場所を移動します。

集合場所: 倉賀野山ファミリーパーク
サービスセンター 前

☔の場合は、保育園ホール
もちもの 水分(水かお茶)、着替え、タオル
巾着子、大人も子どもも重たきやすい服装をきてね。

☔雨天は、保育園ホール
当日の問い合わせは、8:30~9:00頃までに。
雨天連絡は、9:00頃までにHPにあげる
予定なので、休校や天気の日は、そちらもチェック
してね!!

14:00~15:15

☔の子たちは、普段通り
14:00~の広場うんどう会ごっこ
をしたいと思います。

am、pmどちらのうんどう会も
申し込みして下さいね。

絵本講座

11/21(金) 9:45スタート
~11:45

今回は、☔の子
対象ですが、☔に開き
進められた人もどうぞ。
木賀山由美子先生
(ぴよぴよの会)
に絵本のことや親子あそび
など子育てのヒントが詰ま
ったお話を伺います。
申し込み制です。

お父さんとあそぼう

11/22(土) 9:45~

今回は、自然に触れ、育児したい
と思っています。申し込み受付中!!

2025年 10月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			0歳	1・2・3歳		
			1 am 庭あそび pmふれあいあそび	2 庭あそび	3 お月見団子 作り	4 園庭開放
5	6 園庭開放	7 たんぽぽ⑤	8 am 室内あそび pmふれあいあそび	9 広場・園庭開放 お休み	10 庭あそび	11 園庭開放
12	13 スポーツの日	14	15	16	17	18 保育園運動会 遊びにきてね
電話相談 【14(火)~18(土)は園行事の為広場・園庭開放はお休みです】						
19	20 園庭開放	21 たんぽぽ⑥	22 am 運動会ごっこ pm	23 庭あそび	24 さんぽ	25 園庭開放
26	27 園庭開放	28 園庭開放	29 am リズム誕生会 pm計測・ティータイム	30 さんぽ	31 リズム 誕生会	

水曜日は這える子はamへ、まだ這わない子はpmへ遊びに来てね!
※広場の活動については、予定が急遽変更になる場合があります。HPも見てください。

◆年齢ごとの広場

午前の活動(水~金)

9:30~11:30

午後の活動(水)

13:30~15:30

☔ランチタイム

(水~金)広場終了後

11:15~12:15

おにぎりやお弁当を作って持ってきてね。
(車は園庭前の砂利の駐車場の枠取りに停めてくだ
さい。門に遠い方から停めてくださいね。)

◆園庭開放(月~土) 9:30~11:30

※利用者名簿等記入(センターの掲示板へ)

◆オープンプラザ(活動のない月火木金)

9:30~11:30

14:00~15:30

◆電話相談(月~金)

13:00~16:00

◎持ち物◎

帽子、着替え、タオル(水曜PMはバスタオル)

名札(初回配布)、おむつ替えシート、

お茶(ジュースは持ってこないでね)等

現在、基本的
には予約制ではありませ
ん。(場合により予約が
必要な時があります。)

利用する方は、
問い合わせ下さい。

2025年 11月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			0歳	1・2・3歳		
			am さんぽ pmティータイム	さんぽ	さんぽ	1 園庭開放
2	3 文化の日	4 たんぽぽ①	5 am 感触あそび pmふれあいあそび	6 庭あそび	7 色あそび	8 園庭開放
9	10 am あおぞら広場 pm 妊婦さんの広場	11 たんぽぽ②	12 am 庭あそび pmふれあいあそび	13 さんぽ	14 庭あそび	15 大バザー
16	17 園庭開放	18 たんぽぽ③	19 am さんぽ pm ティータイム	20 庭あそび	21 絵本講座	22 お父さんと あそぼう
23	24 勤労感謝の日	25 たんぽぽ④	26 am リズム誕生会 pm体操・計測	27 リズム 誕生会	28 さんぽ	29 園庭開放
30						

全年齢対象 園庭開放(月~土) 9:30~11:30

土曜日はお庭にいる職員に声をかけてね。

自閉症のわが子と歩む16年 「モーレツ母」から 「テキトーかあさん」 になるまで

各種教員免許をもち、産前から幼児教室を経営していた立石美津子さんは、いわば教育のプロ。その経験をもとに妊娠中からわが子の教育にも熱心に取り組むものの、2歳のときに「知的障害を伴う自閉症」との診断。しばらくショックで泣き暮らす日々が続いたと言います。しかし、「わが子の特性に合った子育てモード」にスイッチを切り替えてから、よい加減で子どもと向き合う「テキトーかあさん」になったのだと話します。そこに至るまでのストーリーと、数々の経験から生まれた、子育てに役立つ知恵をうかがいました。

お話を 立石美津子さん（講演家）
写真 山本美代子（P.26）

そんなはずはない！から
比べない子育てへ

もともと息子は重度の食物アレルギーがあり、卵、乳製品は一切禁止の食生活でした。息子が2歳の頃、アレルギー治療のついでに病院で「なかなか話を話さないのです」「……」と相談。ほどなくして病院内の「こころの診療科」を受診することに。担当医師は診察室に入ってきた息子をちらりと見て「はい、お子さんは知的障害を伴う自閉症ですね」とあっさり言いました。アレルギーだけでなく大変なことに、障がいまで……わたしにとっては、まさに晴天の霹靂でした。その後、複数の医師に診断を仰ぎましたが、どの医師も異口同音でした。息子が3歳半になる頃、ようやく現状を受け入れ、療育をはじめめることに。

最初はわたしも、ほかの子と比べてうらやましがったり、落ち込んだりしていた時期がありましたが、期待してハードルを上げると親も子どもも辛いもの。わが子をほかの子と

比べる代わりに、その子自身のいま

と以前を比べると成長がたのしめるようになり。親の価値観を押しつけない、あるがままを受け入れられると親も少しあわせになります。そうしてあるがままを受け入れ育ててきたおかげで、いま息子は毎日のしるしに過ごしています。自分のことが大好きなよう。担任の先生はじめ周囲にも障がいのことを伝え、特性を知ってもらうことで、本人が居心地のよい環境をつくってきたこともよかったのかもしれません。息子は知的な遅れがあるので周囲との差を自覚していないということもあり、知的な遅れが軽い子や診断名のないグレーゾーンの子は自覚があるだけに劣等感を抱きやすく、より生きにくいのではないかと思います。

「ふつう」をよしとする
社会が二次障がいを産む

いま思えば、早期に障がいに気づいてよかったと思います。実際、早く気づけなかったために「みんなと同じように」と、親が叱り飛ばして

たていしみつこ 幼稚園・小学校・特別支援学校教諭免許を取得後、幼児教室を創業。現在は執筆家、講演家として活動中。「1人でできる子になる」「テキトー母さん」流子育てのコツ（日本実業出版社）など著書多数。
<http://www.tateishi-mitsuko.com/blog/>



育て、本人もつらい努力を重ねてそこを病み、それにより自殺をしてしまう子もいると聞きます。こうした現象は「二次障がい」と言い、本人にとって不適切な環境に置かれたことで生じるストレス反応です。これを防ぐためにも、もしわが子に気になる点があれば、できるだけ早く専門機関に相談し「子どもの特性に合った子育てモード」にスイッチを切り替えることをおすすめします。

「何度言ったらわかるの!」がなくなる

立石さんちの〈言い換え〉コミュニケーション術

子どもが何度言っても言うことを聞いてくれない……と困っているひとは、次のように言い換えてみて。立石さんが幼児教室で出会う子や自身の子育てから編み出した、子どもに響く方法です。

point

1

否定形を使わない

「こぼさないようにね!」などと声をかけると、脳は不思議と「こぼす」ほうに意識が集中してしまい、本当にこぼしてしまう結果に。否定形のこぼさないことで、脳はそのことば通りに、素直に従ってくれます。

- こぼさないでね! → しっかり持とうね
- 転ばないでね! → 前を見て歩こうね
- 忘れものしないでね! → ハンカチ、ちり紙をカバンに入れようね
- 走らないで! → 歩こうね

point

2

指示ははっきり、具体的に

とくに小さい子どもには、行動しやすいよう「いま何をどうするべきなのか」「なぜいけないのか」を明確にことばにしたほうが断然わかりやすくなります。子どもも納得してくれるので、何度も同じような注意をしなくてもよくなります。

- きちんと座りなさい → 背中を伸ばして座ろうね
- 早くしなさい → △時までは〇〇を終えよう
- 順番を守りなさい → ブランコは〇〇ちゃんの次だよ。2番目だよ
- まじめにしなさい → 隣の友だちといまはおしゃべりしないようにね
- ちゃんときれいに片づけて! → 積み木は積み木の箱に、絵本は本棚に戻してね

月刊7-9月
2016年9月号



今度のお祭り、たのしみ!

いつもたのしそうで
しあわせだね。
親に感謝しなさいよ(笑)

母・立石さんと談笑する息子さん(写真左)。もうすぐ16歳を迎えます。「おかあさんの好きなところを3つおしえてください!」と編集部が質問すると、「かわいいところ」「やさしいところ」「お仕事してるところ」と、即答してくれました。

子育てをしていると何が正解か?これって普通のこと?時々わからないことがけっこうありますね。
発達には、年齢や月齢差はもちろん、個々によって違うことがたくさんあります。ちょっとした言い換えで、とてもわかりやすく伝わり、目を見て伝える(お互いに)ことも大切になってきます。障がいがあるなしというより、その子に伝わる方法で、この子自身、何が
苦手なのか?何に困っているのか?に気付いて、手立てをしてあげられると、お互い気持ちも通じて、うまくいくことが増えるかな?
我が家の特性も発達している息子は、pointがかなり重要になります。なせ否定形は、やってはいけないことというから、
反対言葉をいわれているようで、「じゃあ、どうするんだ?できないんだからな」とイライラUP。我が子にあった関わり方を模索すること、変えてみるのが第1歩ですね。